

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	223うるおいある河川・水路の整備		
施策のねらい (めざす姿)	市民が水辺に親しみをもっています。 河川・水路等の整備が進み、市民が安心して生活できています。		
基本目標	2「自然と社会が調和する環境共生都市」をめざして	施策担当マネージャー	都市建設部次長
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	マネージャー氏名	若泉 哲也

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	・河川水路の現状を把握した中で、清掃や浚渫を効率的に行うことにより、流下能力の確保に努める。 ・事業の投資効果、被害の状況を考慮し、効率的に事業を進める。	③改革・改善内容	施設の整備には多くの時間が必要であるため、現時点で可能な対策を実施すること、さらに適正な維持管理を行うことで、水害被害の軽減を図っていく必要がある。
②①に基づく取り組み結果	・流水阻害の要因となる河川・水路の護岸の除草を年間委託で実施したほか、ごみや土砂の撤去を実施した。 ・準用河川中沢川、準用河川二和川の護岸改修工事を行った。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	河川や水路、雨水貯留池、雨水浸透樹	意図(対象をどうするのか)	施設の整備を行うとともに、適正に維持管理し、浸水被害を軽減する。
②施策の概要	河川や水路、雨水貯留池、雨水浸透樹等の整備により、治水安全度を高め、市民が安心して暮らせるとともに、水辺に親しめる環境を創造する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	地球温暖化の影響などでゲリラ豪雨も増加しており、多様な浸水被害に対応していく必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27～28年度の施策の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・準用河川二和川護岸改修第29期工事、準用河川中沢川護岸改修工事、準用河川二和川バイパス改修工事 ・鎌ヶ谷二丁目地区地域排水整備工事(その1)(その2)、浸透樹設置モニター工事 ・道野辺中央五丁目地区地域排水整備工事、馬込沢地区排水ポンプ設置工事 ・串崎新田貯留池用地購入 							
②施策成果指標	指標名称			単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値(32年度)
	i	浸水面積	ha	124.5	123.5	123.5	121.1	
	ii	浸透樹設置個数	基	6,587	6,679	6,781	7,800	
	iii							
③基本事業成果指標	i	貯留量	m ³	40,421	40,421	40,421	40,160	
	ii	河川・水路に対する満足度(市民意識調査)	%	—	—	—	15.0	
	iii							
	iv							
	v							
	vi							
	vii							
	viii							
	ix							
④施策の事業費	平成27年度決算	平成28年度決算	市民一人あたり事業費(28年度決算)	平成29年度予算				
事業費(千円)	195,806	323,978	(単位:円)	2,968	円	560,655		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の整備には多くの用地の協力を得ることが必要になっている。また、施設整備には多くの費用が必要であり、財源の確保にも努める必要がある。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	指標には表れないものの、治水施設の整備は進捗している状況である。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する事務事業	準用河川整備事業		
④上記方向性の説明	水害被害の大きい地区の被害軽減のため、河川整備を計画的に進めていく必要がある。		